

2023年3月期 第1四半期
決算説明資料

上村工業株式会社

東京証券取引所スタンダード市場 証券コード：4966

2022年8月8日

【連結会計期間】

日本国内(2社)：4月～6月／海外(10社)：1月～3月

● 表面処理用資材事業

- 主力のパッケージ基板向けのめっき薬品は、高速通信市場や半導体関連市場における需要拡大により、売上高、セグメント利益ともに前年同四半期を上回りました。

● 表面処理用機械事業

- 台湾市場を中心に半導体や電子部品向けの表面処理用機械の需要が好調に推移し、売上高は前年同四半期を上回りましたが、樹脂板、電子部品、フィルターなど表面処理用機械の製造に使用される様々な部材の価格が高騰し、セグメント利益は前年同四半期を下回りました。

● めっき加工事業

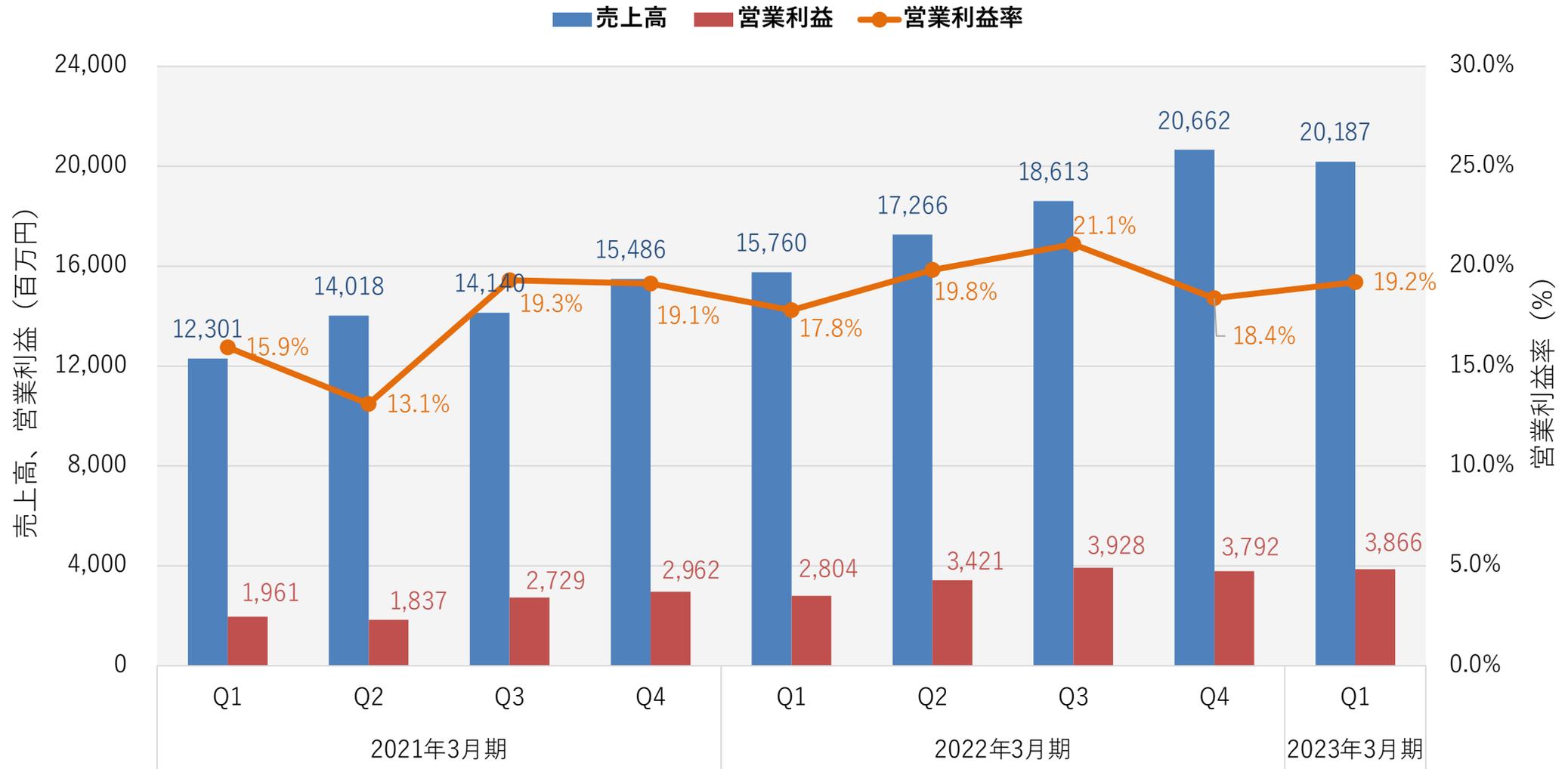
- 台湾は順調に推移しましたが、タイやインドネシアにおける自動車産業は、新型コロナウイルス感染症の影響により自動車メーカー各社の生産調整が続いており、また、非鉄金属等の原材料価格の高騰による影響を受けて、厳しい事業環境が継続しました。

2023年3月期 第1四半期 決算概要

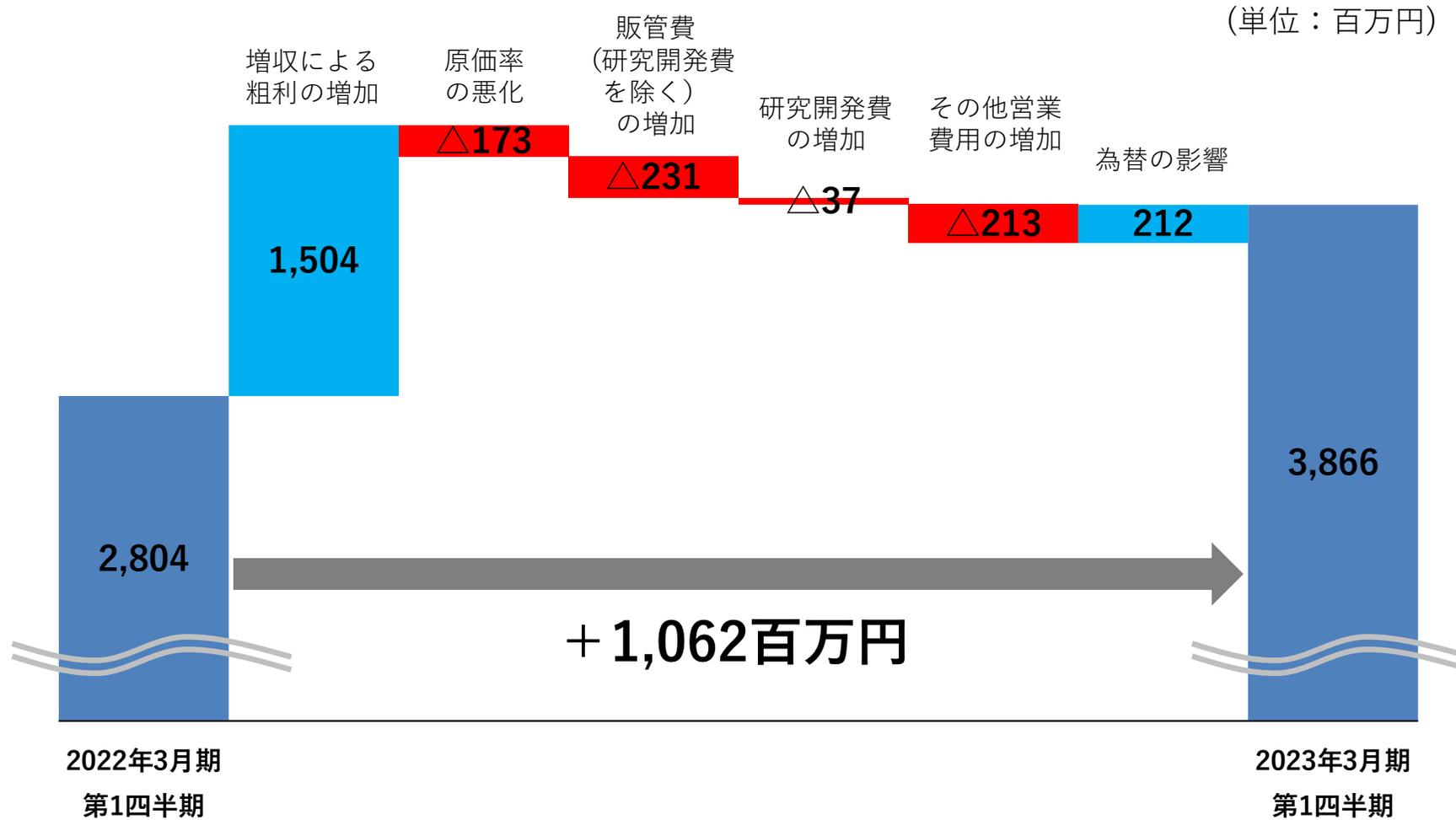


(単位：百万円)	前第1四半期 累計実績	当第1四半期 累計実績	増減額	増減率
売上高	15,760	20,187	+ 4,427	+ 28.1%
営業利益	2,804	3,866	+ 1,062	+ 37.9%
経常利益	3,022	4,294	+ 1,272	+ 42.1%
四半期純利益	2,118	3,663	+ 1,545	+ 72.9%
為替：米ドル	106.09円	116.34円	10.25円安	

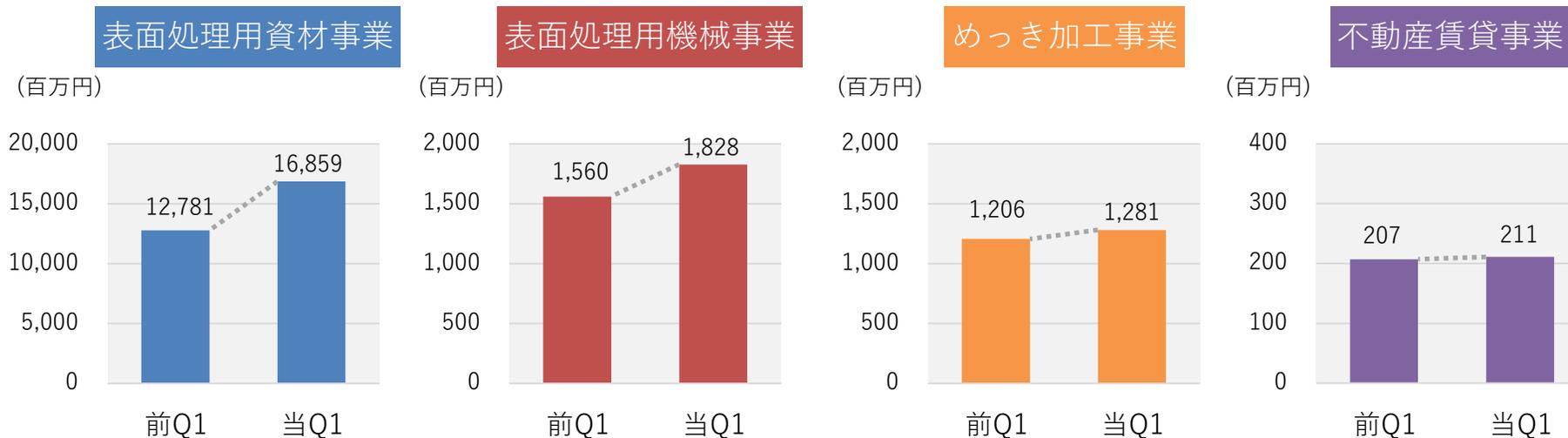
四半期毎の業績推移



営業利益の増減要因



事業セグメント別売上高



(単位：百万円)	前第1四半期 累計実績	当第1四半期 累計実績	増減額	増減率
表面処理用資材	12,781	16,859	+ 4,078	+ 31.9%
表面処理用機械	1,560	1,828	+ 268	+ 17.2%
めっき加工	1,206	1,281	+ 75	+ 6.2%
不動産賃貸	207	211	+ 4	+ 1.9%

事業セグメント別営業利益

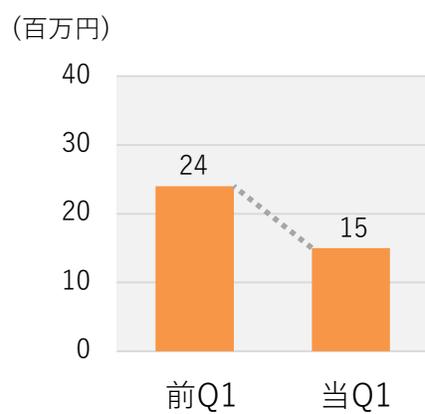
表面処理用資材事業



表面処理用機械事業



めっき加工事業

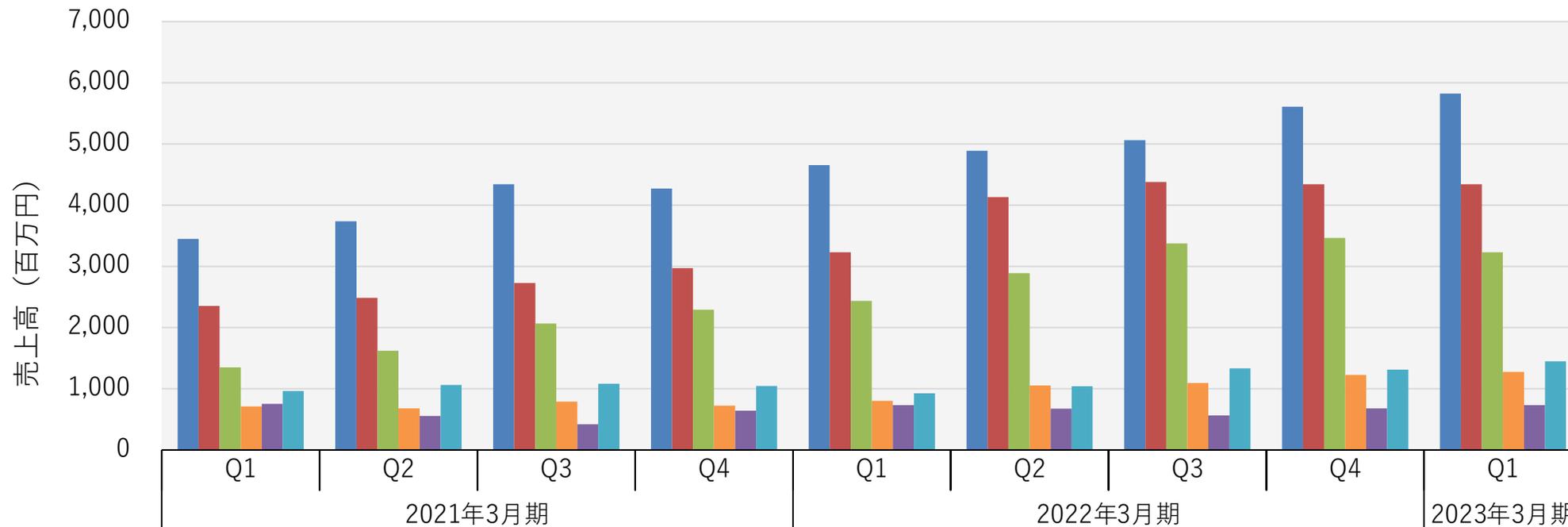


不動産賃貸事業



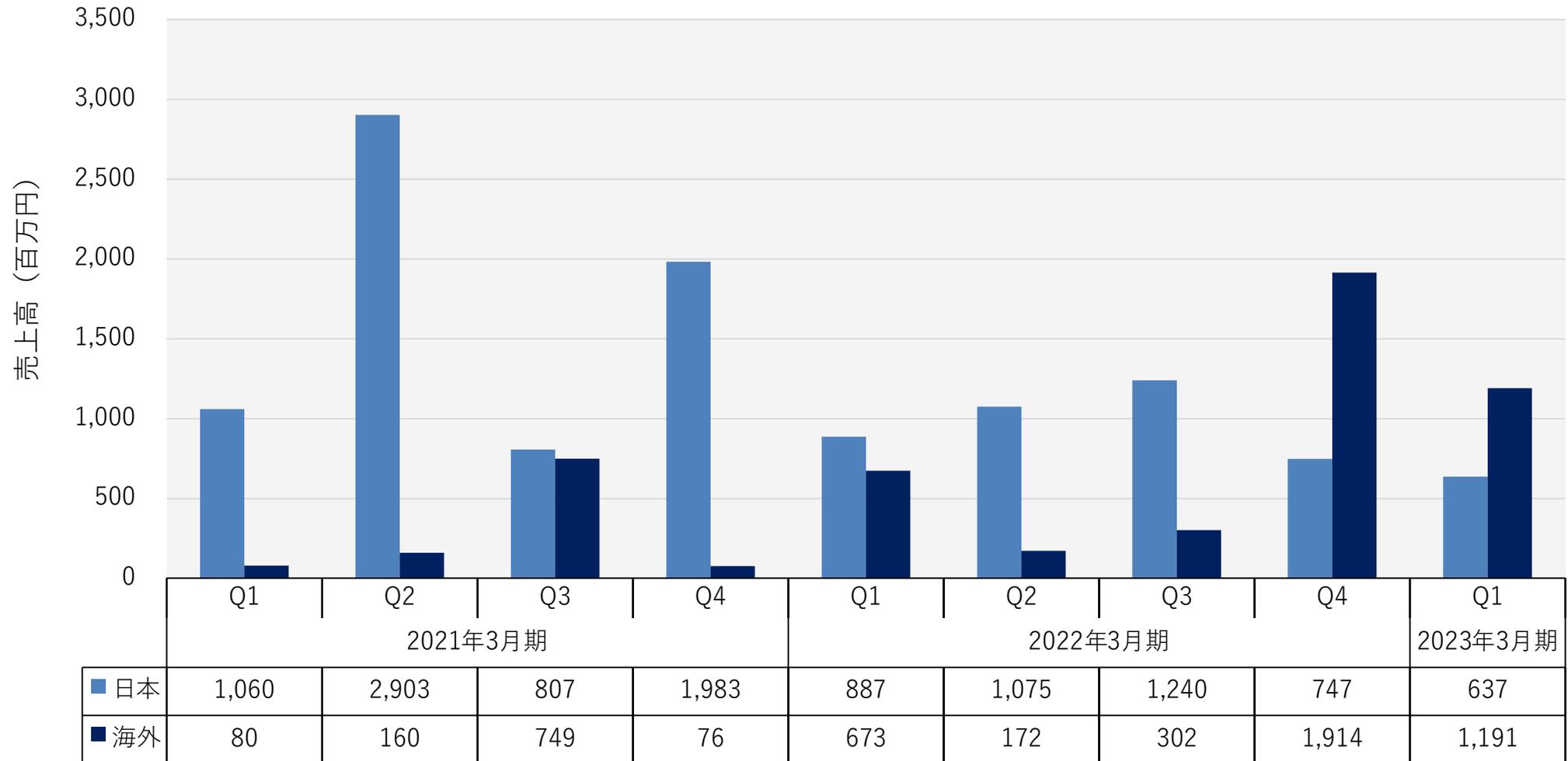
(単位：百万円)	前第1四半期 累計実績	当第1四半期 累計実績	増減額	増減率
表面処理用資材	2,435	3,575	+ 1,140	+ 46.8%
表面処理用機械	214	137	△ 77	△ 36.0%
めっき加工	24	15	△ 9	△ 37.5%
不動産賃貸	127	133	+ 6	+ 4.7%

表面处理用資材事業 売上高推移

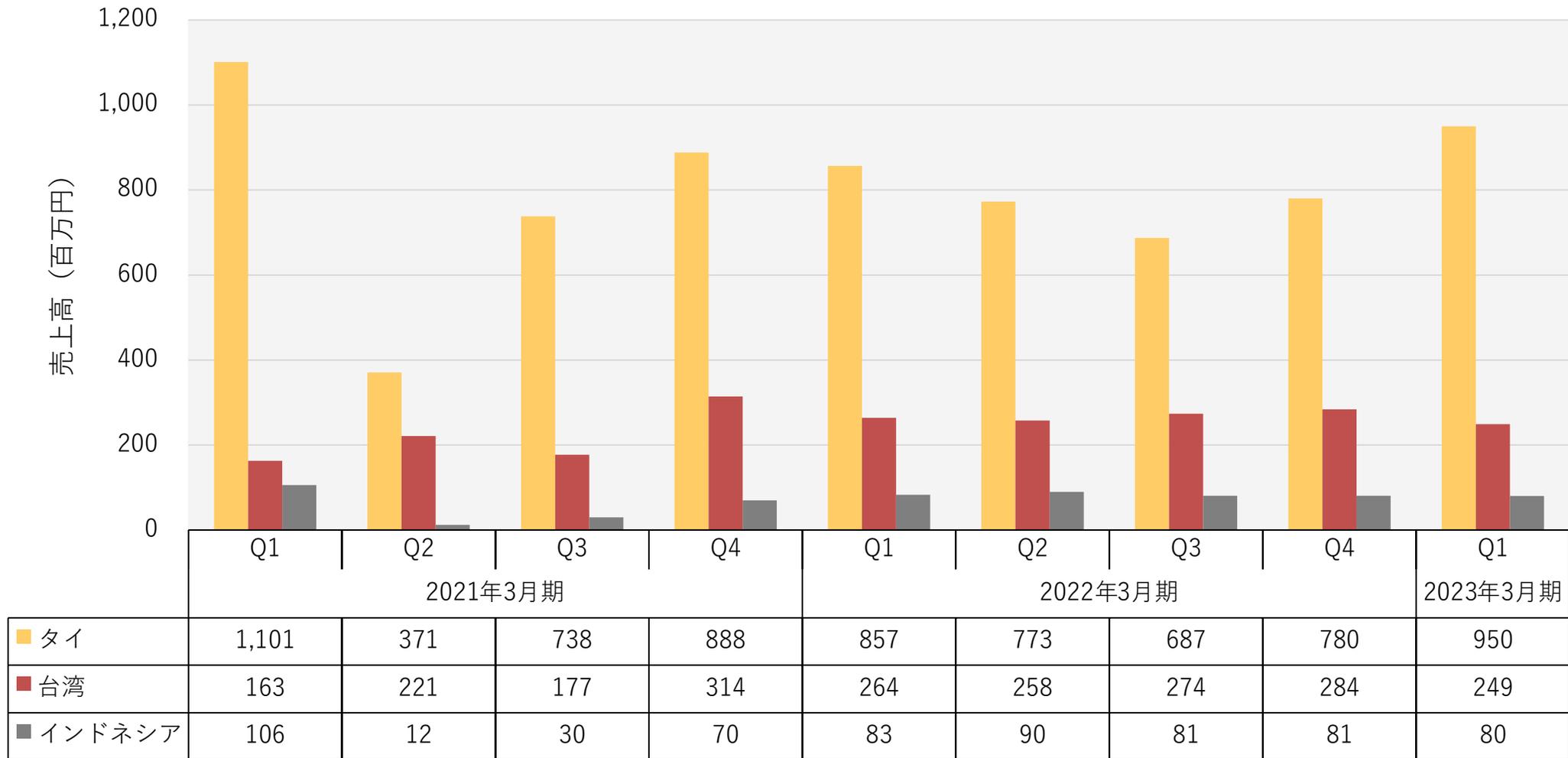


	2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
■ 日本	3,448	3,737	4,342	4,270	4,653	4,889	5,062	5,608	5,823
■ 台湾	2,355	2,485	2,728	2,973	3,231	4,133	4,380	4,343	4,341
■ 中国	1,350	1,622	2,064	2,291	2,436	2,887	3,375	3,465	3,232
■ 韓国	714	678	791	726	803	1,054	1,096	1,227	1,277
■ A S E A N	753	556	421	642	733	675	564	681	734
■ 北米	961	1,062	1,082	1,045	924	1,040	1,333	1,314	1,450

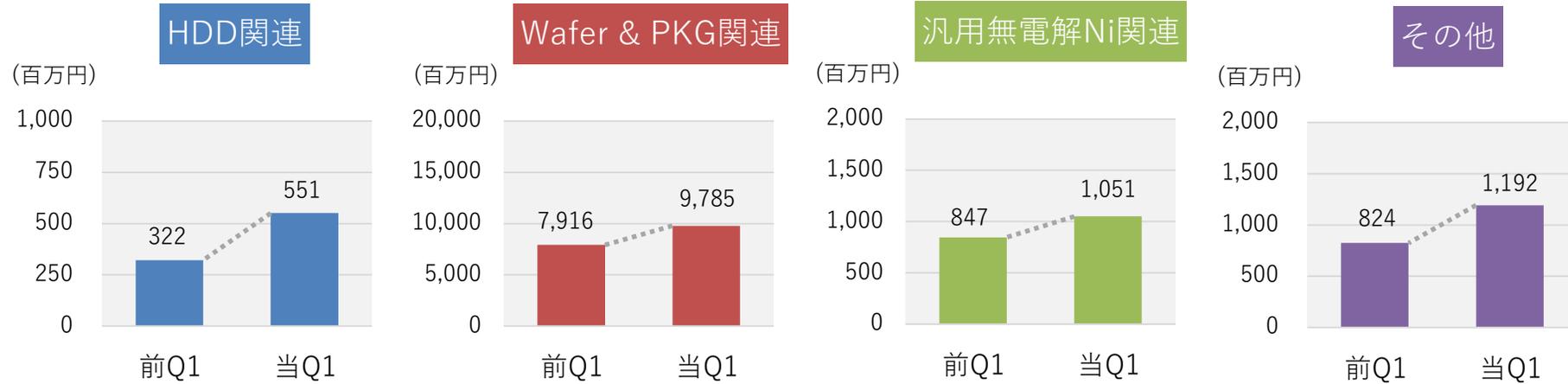
表面处理用機械事業 売上高推移



めっき加工事業 売上高推移



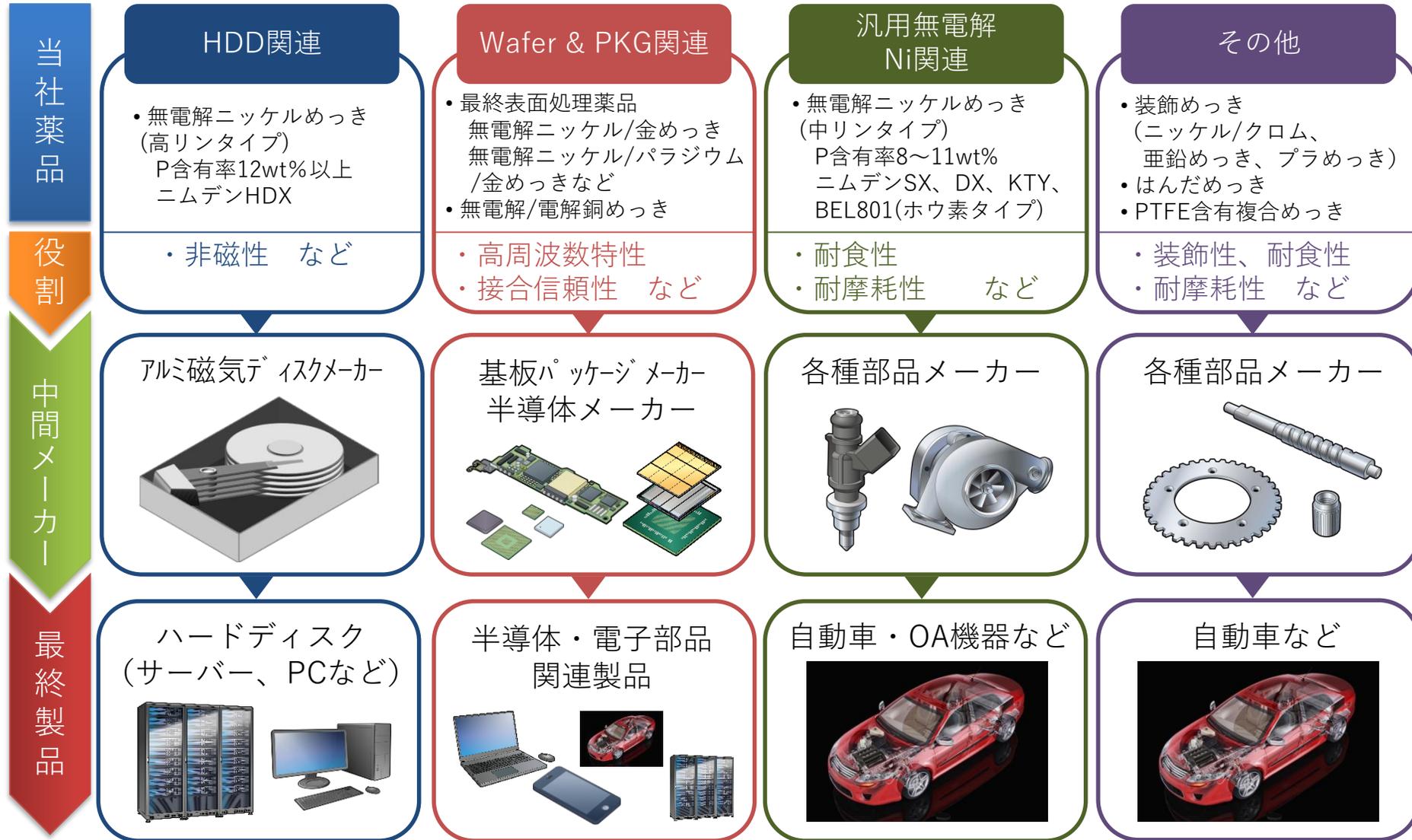
薬品カテゴリー別売上高



(単位：百万円)	前第1四半期累計実績		当第1四半期累計実績		増減額	増減率
		構成比		構成比		
HDD関連	322	3.3%	551	4.4%	+228	+70.9%
Wafer & PKG関連	7,916	79.9%	9,785	77.8%	+1,868	+23.6%
汎用無電解Ni関連	847	8.6%	1,051	8.4%	+204	+24.1%
薬品その他	824	8.3%	1,192	9.5%	+368	+44.7%
合計	9,910	100.0%	12,580	100.0%	+2,669	+26.9%

薬品の売上高は、表面処理用資材事業に含まれます。薬品には研磨剤、工業薬品、金属等は含んでおりません。※内部売上高含む

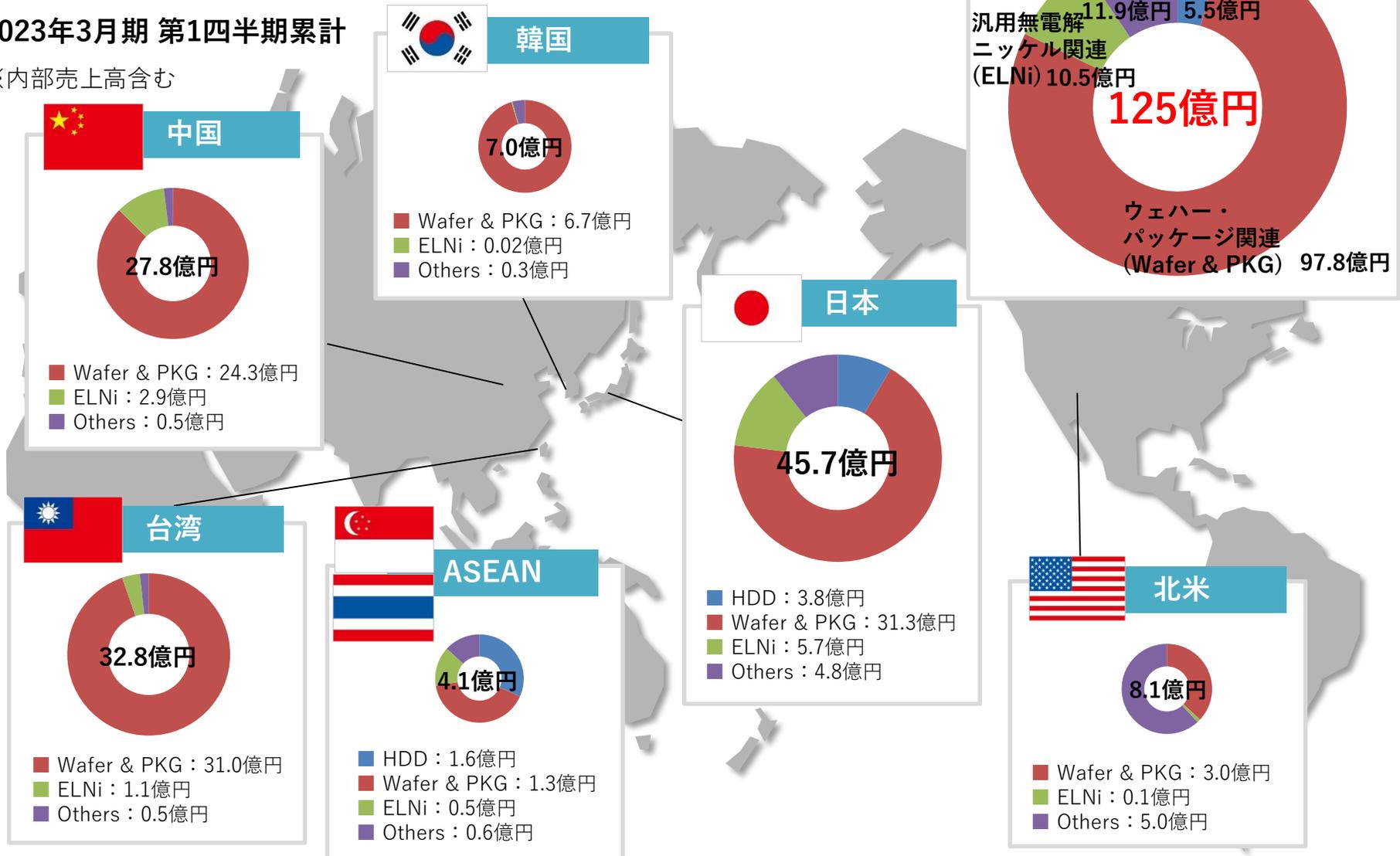
薬品ビジネス 最終製品までの流れ



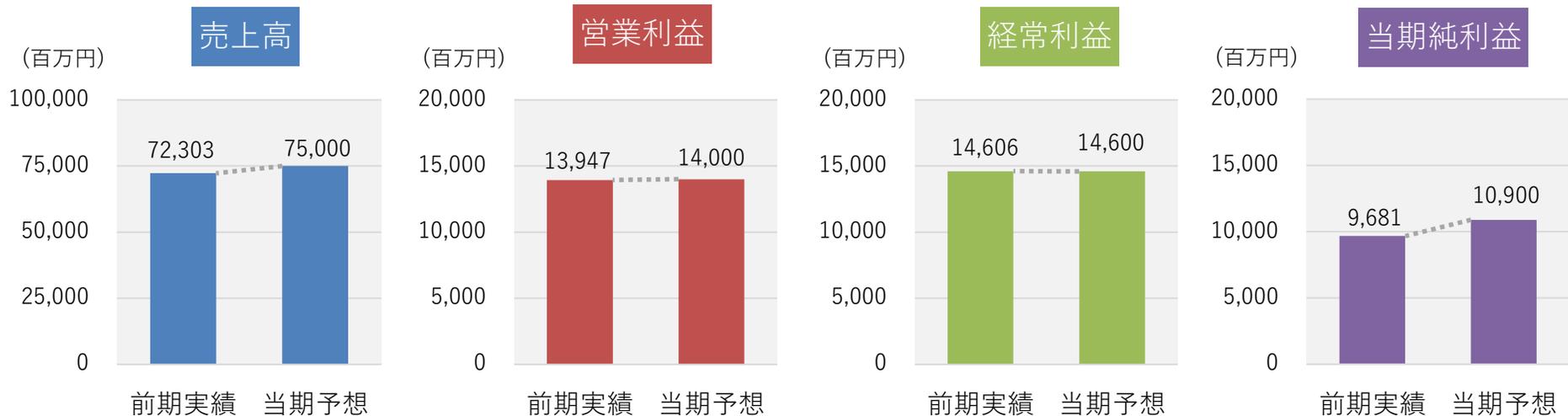
地域別薬品売上高

2023年3月期 第1四半期累計

※内部売上高含む



2023年3月期 通期業績予想



(単位：百万円)	前期末績 (通期)	当期予想 (通期)	増減額	増減率
売上高	72,303	75,000	+2,696	+3.7%
営業利益	13,947	14,000	+52	+0.4%
経常利益	14,606	14,600	△ 6	△ 0.0%
当期純利益	9,681	10,900	+1,218	+12.6%
為替：米ドル	109.90円	122.39円	12.49円安	

2023年3月期 通期業績予想

● 事業セグメント別売上高・営業利益予想

(単位：百万円)	売上高				営業利益			
	前期実績 (通期)	当期予想 (通期)	当Q1 累計実績	対予想 進捗率	前期実績 (通期)	当期予想 (通期)	当Q1 累計実績	対予想 進捗率
表面処理用資材	59,920	63,200	16,859	26.7%	12,717	13,000	3,575	27.5%
表面処理用機械	7,013	6,200	1,828	29.5%	680	300	137	45.7%
めっき加工	4,518	4,800	1,281	26.7%	29	250	15	6.0%
不動産賃貸	834	800	211	26.4%	503	450	133	29.6%

● 薬品カテゴリー別売上高予想

(単位：百万円)	前期実績 (通期)	当期予想 (通期)	当Q1 累計実績	対予想 進捗率
HDD関連	1,419	1,450	551	38.0%
Wafer & PKG関連	36,722	39,750	9,785	24.6%
汎用無電解Ni関連	3,630	3,760	1,051	28.0%
薬品その他	4,205	4,295	1,192	27.8%
合計	45,977	49,255	12,580	25.5%

<参考> 為替感応度

2023年3月期想定レート：122.39円(JPY/USD)

円安に1円振れると通期で

- ・ 売上：約380百万円増
- ・ 営業利益：約70百万円増

円高に1円振れると通期で

- ・ 売上：約380百万円減
- ・ 営業利益：約70百万円減

※米ドル以外の通貨も連動して動くことを想定しています。

為替レートの推移

ニュー台湾ドル



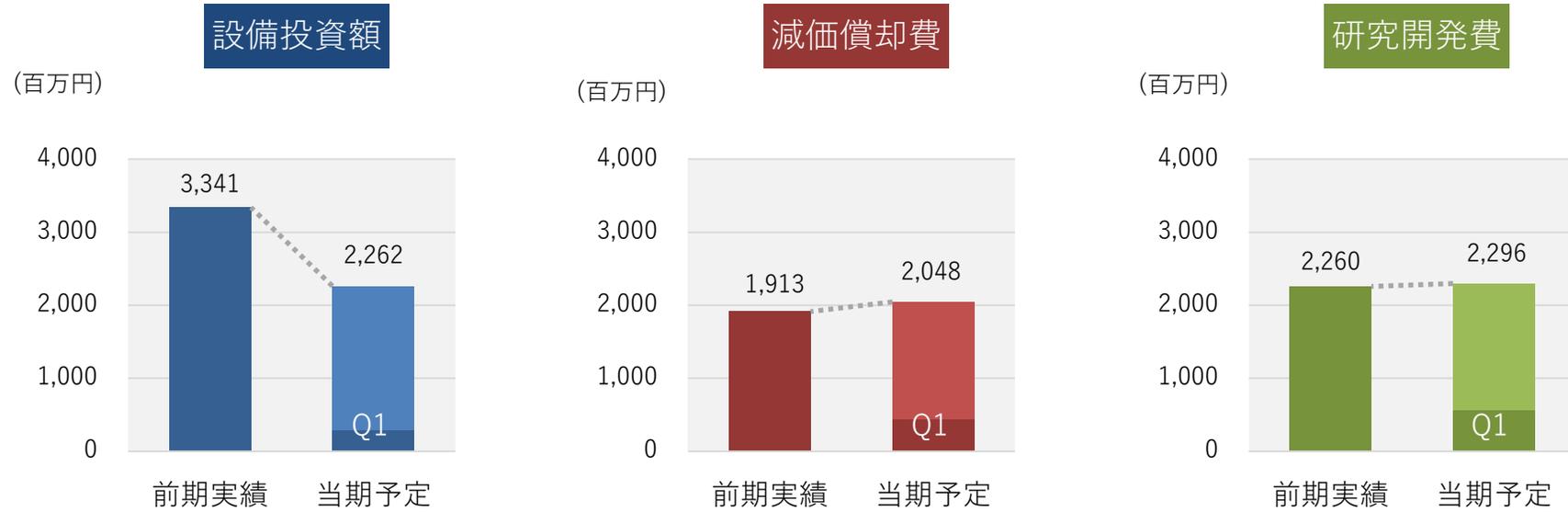
人民元



米ドル



設備投資/減価償却/研究開発費



(単位：百万円)	前期末績 (通期)	当第1四半期 累計実績	当期予定 (通期)
設備投資額	3,341	300	2,262
減価償却費	1,913	446	2,048
研究開発費	2,260	566	2,296

安定的な経営基盤の確保と株主資本利益率の向上を基本方針とした資本政策に取り組んでいます

連結総還元性向 50%、ROE 8.5%を目標

2022年3月期-2024年3月期の3年間で60億円規模の弾力的な自己株式取得を実施

中長期的にはROE 10%を目指す

- 総還元性向による安定した配当の実現と自己株式取得の機動的な実施
- 経済状況、財務状況等を総合的に勘案した弾力的な自己株式取得の実施
- 将来の成長が見込まれる分野や地域、新たな技術取得、M&A、想定外の事態や自然災害に備えた内部留保の確保

※当社は、役職員と共に持続的な企業価値創造を実現していくため、その動機付けの原資として、またM&A戦略（M&Aや業務資本提携等）を実施するため、その対価として一定の自己株式を保有します。

※M&A戦略を実施しなかった場合は、発行済株式総数の10%を超える部分については、消却いたします。

参考資料

顧客満足度向上を目指す 誠心を以って実行に徹底する

- 市場占有率が高い市場では、更に市場占有率を高めるための営業および開発戦略
- 市場占有率が低い市場では、市場占有率を上げるための営業および開発戦略
- 市場の流れに合う製造戦略
- 薬品、機械および液管理装置のトータルソリューションの提供

トータルソリューションシステム Total Solution for Plating Technologies

めっき用薬品

素材の表面に金属の薄膜を形成し、様々な機能性や装飾性を与えるための薬品

めっき用装置

大量の素材や難めっき素材に対するめっき工程を効率的に進めるための装置

液管理装置

めっき薬品の状態を常時分析し、薬液の補給を行うための装置

めっき加工

グループ会社ではウエムラ製のめっき用薬品や装置を使用しためっき加工工場を保有



▶当社は表面処理の事業分野である、めっき用薬品、めっき用装置、液管理装置の3つすべてを手掛けています。

またタイ・台湾・インドネシアのグループ会社にめっき加工の工場を保有し、ウエムラ製のめっき用薬品や装置を使用して、日々の生産を行っています。つまりめっき加工工場はウエムラ製品を扱ったモデル工場となっており、現場で実践的なノウハウを蓄積し、製品開発へのフィードバックにつなげています。

- **電子部品/半導体**

自動車関連では、電動化・自動運転が進めば多くの電子部品・半導体が使用される。全世界的に環境に対応した自動車および自動運転支援システムを搭載した環境対応自動車が増加した。環境に対応した自動車および自動運転支援システムを搭載した自動車および電動車が増加すれば、バッテリー、位置情報確認システム、支援型ナビゲーション、各種センサー、車載カメラおよびモーター制御用電子部品が飛躍的に必要になっている。レベル4の自動運転を実現するには更に多くの電子部品が必要とされている。

サーバーの記憶媒体にはハードディスク、サーバーと携帯端末機器間の情報伝達を制御する心臓部に使用されている中央演算装置にも多くの表面処理が採用されている。更に自動運転支援システム等への地図情報をリアルタイムに走行中の自動車に伝達する通信を司る電子部品にも表面処理が採用されており、今後加速するIoT環境を考えると潜在需要は非常に大きい事が期待できる。

- **表面処理装置**

半導体・電子部品・PKG等の部品が供給不足の為に、積極的な半導体・電子部品・PKG等の装置への設備投資が継続されており受注環境は暫く堅調。

- **当社が関係する原料**

機械部品および電子関連部品不足：コロナの関係で操業停止せざるを得ない工場が世界的に拡大している。操業停止により、更に悪循環になっている。設備投資は旺盛だが、設備を製作して納入できない状態が何時解消するのか混沌とした状態が継続している。

原材料の高騰および原油価格の高騰：全ての原材料、原油および部品がコロナおよび為替の影響で高騰している。めっき装置では前述した様に新規案件に対応できない状態が継続しているが、2023年には回復すると期待している。薬品の原料も為替の影響で高騰しているが、企業努力で吸収している。吸収できない貴金属および金属は、相場に連動した販売価格を設定させて頂いている。この状況は当社だけでなく、全ての業界でも同じ様な状況のはずである。

ESG・SDGsに関する取り組み

当社は「Growing together with  (:You)」のグループ共通スローガンのもと、ステークホルダーの皆様と共に成長・発展し、社会に貢献できる企業を目指しています

Environment (環境)

環境対応型製品・技術の開発・拡販



廃棄物・水使用量の削減



社会発展・環境改善へとつながる製品の開発・提供



クリーンエネルギーの使用、電力使用量の削減



持続可能な
社会の実現

社会貢献・地域貢献活動の推進



コンプライアンスの徹底、人権の尊重



受注から出荷までの工程の自動化

BCP (事業継続計画) の実施



いきいきと働ける職場環境の整備



Social (社会)

Governance (ガバナンス)

グループ会社一覧

会社名	設立年	所在地	主な事業内容
上村工業株式会社	1848年(創業) 1933年(設立)	日本	    
株式会社サミックス	1963年	日本	
ウエムラ・インターナショナル・コーポレーション	1985年	米国	  
上村(香港)有限公司	1986年	中国 (香港)	
台湾上村股份有限公司	1987年	台湾	    
サムハイテックス	1987年	タイ	   
上村工業(深圳)有限公司	1988年	中国 (深圳)	   
ウエムラ・インターナショナル・シンガポール	1992年	シンガポール	
ウエムラ・マレーシア	1996年	マレーシア	 
上村化学(上海)有限公司	2002年	中国 (上海)	
韓国上村株式会社	2010年	韓国	 
ウエムラ・インドネシア	2012年	インドネシア	 

 営業
  研究開発
  薬品製造
  機械製造
  めっき加工
  不動産賃貸
 2022年6月30日現在

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

Growing together with



Uyemura Group Companies

- | | | | |
|-------------|---|-------------|---|
| • Japan | C.Uyemura & Co., Ltd.
Sumix Corporation | • Taiwan | Taiwan Uyemura Co., Ltd. |
| • USA | Uyemura International Corporation | • Korea | Uyemura Korea Co., Ltd. |
| • Hong Kong | Uyemura International (Hong Kong) Co., Ltd. | • Singapore | Uyemura International (Singapore) Pte Ltd |
| • Shenzhen | Uyemura (Shenzhen) Co., Ltd. | • Malaysia | Uyemura (Malaysia) Sdn. Bhd. |
| • Shanghai | Uyemura (Shanghai) Co., Ltd. | • Thailand | Sum Hitechs Co., Ltd. |
| | | • Indonesia | PT. Uyemura Indonesia |